

平成19年度

終末期医療に関する調査

—いのちを支える医療を目指して—

【ご記入に際してのお願い】

- 1) 宛名の方ご本人がお答えください。
- 2) ご記入は質問の番号にそってお願いします。
- 3) 一部の方だけにお答えいただく質問もございますが、その場合は【…の方に】といった指示があります。
- 4) お答えはあてはまる番号に○印をつけてください。
- 5) 「その他」に○をつけられた場合には、()内に具体的にご記入ください。
- 6) ご記入は鉛筆または、黒・青のペン、ボールペンでお願いします。
- 7) 記入上おわかりにならない点などがありましたら、下記の新情報センターまでお問い合わせください。

【ご返送締切日】

ご記入いただきました調査票は、3月24日(月)までに返送用封筒にてご投函くださいますようお願いいたします。

平成20年3月

調査主体 厚生労働省 医政局総務課

調査実施 社団法人 新情報センター
東京都渋谷区恵比寿1-13-6

電話 03-3473-5231

担当 高崎・利光

<終末期医療への関心等についてお尋ねいたします>

問1 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらのことに関心がありますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 非常に関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 少し関心がある | 4 ほとんど（全く）関心がない |

補問 （問1で1か2をお選びの方に）あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 よく知っている | 3 あまり知らない |
| 2 詳しくはないが、少し知っている | 4 ほとんど（全く）知らない |

（全員の方に）

問2 あなたご自身が治る見込みがない病気になった場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|---------------|
| 1 知りたい | →（問3へお進みください） |
| 2 知りたくない | |
| 3 わからない | |

補問 （問2で1をお選びの方に）この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けたいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|---|
| 1 直接受けたい |) |
| 2 家族に聞いてもらい、家族から話を聞く | |
| 3 その他（具体的に | |

<あなたの死が間近に迫っている場合を想定してお尋ねします>

（全員の方に）

問3 あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている（数日程度あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、心肺蘇生措置を望みますか。（○は1つ）

※ ここでいう心肺蘇生措置とは、

死が迫った時に行われる以下の行為を指すものとします。「心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為」

- | |
|----------------------|
| 1 心肺蘇生措置を望む |
| 2 どちらかという心臓蘇生措置は望まない |
| 3 心肺蘇生措置は望まない |
| 4 わからない |

問4 あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（○は1つ）

1 延命医療を望む	→	(問5-1へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない		
3 延命医療は望まない		
4 わからない	→	(問5-1へお進みください)

補問1 (問4で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

※ ここでいう胃ろうとは、人工的に胃壁に作られた穴（ろう孔）を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう（※）や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

補問2 (問4で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法	→	(問5-1へお進みください)
2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法		
3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法	→	(補問3へお進みください)
4 わからない		
	→	(問5-1へお進みください)

補問3 (補問2で3をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要となるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。
(○はいくつでも)

- 1 医学的にみて患者が不治の病に冒され、しかもその死が目前に迫っていること
- 2 患者の痛みが甚だしく、誰もがこれを見るに忍びないほどであること
- 3 患者の痛みからの解放を目的とした治療が十分なされていること
- 4 患者本人の強い要請があること
- 5 方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること
- 6 医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること
- 7 医師の手によることを原則とし、これができない場合は世間が納得できるだけの特別な事情があること
- 8 方法が常識的にも妥当なものとして認め得るものであること
- 9 その他 ()
- 10 わからない

(全員の方に)

問5-1 あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。(○は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 5 自宅で最期まで療養したい
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 7 老人ホームに入所したい
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問5-2 あなたは自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 実現可能である → (問6へお進みください)
- 2 実現困難である → (補問へお進みください)
- 3 わからない → (問6へお進みください)

補問 (問5-2で2をお選びの方へ) 実現困難であるとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がいない
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていない
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護してくれる家族がいない
- 6 介護してくれる家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他(具体的に)

<あなたの家族に死期が迫っている場合を想定してお尋ねいたします>

(全員の方に)

問6 では、あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

- 1 延命医療を望む → (問7-1へお進みください)
- 2 どちらかという延命医療は望まない
- 3 延命医療は望まない
- 4 わからない → (問7-1へお進みください)

補問1 (問6で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

補問2 (問6で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法
- 3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
- 4 わからない

(全員の方に)

問7-1 あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこを薦めますか。(〇は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(今、入っている)医療機関へ入院させたい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)へ入院させたい
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関へ入院させたい
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟へ入院させたい
- 5 自宅で最期まで療養させたい
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的な治療をさせたい
- 7 老人ホームへ入所させたい
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問7-2 あなたの家族は自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 実現可能である → (問8へお進みください)
- 2 実現困難である
- 3 わからない → (問8へお進みください)

補問 (問7-2で2をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がない
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていない
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護する家族がない
- 6 介護する家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他(具体的に)

<あなたが^{せんえんせい}遷延性意識障害になった場合を想定してお尋ねします>

(全員の方に)

問8 あなたご自身が、^{せんえんせい}遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。
(○は1つ)

※ ここでいう「^{せんえんせい}遷延性意識障害」とは、

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

1 延命医療を望む	→ (問9へお進みください)
2 どちらかというとな延命医療は望まない	
3 延命医療は望まない	
4 わからない	→ (問9へお進みください)

補問1 (問8で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問2 (問8で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

<あなたの家族が遷延性意識障害になった場合についてお聞きします>

(全員の方に)

問9 では、あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

1 延命医療を望む	→ (問10へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない	
3 延命医療は望まない	
4 わからない	→ (問10へお進みください)

補問1 (問9で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問2 (問9で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

<あなたが脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問 10 あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

1 延命医療を望む	→	(問 11 へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない		
3 延命医療は望まない		
4 わからない	→	(問 11 へお進みください)

補問 1 (問 10 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問 2 (問 10 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

(全員の方に)

問 11 あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。(○は1つ)

1 自宅	→	(補問 1 へお進みください)
2 病院		
3 老人ホーム	→	(補問 2 へお進みください)
4 その他(具体的に)		
5 わからない	→	(問 12 へお進みください)

補問1 (問11で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごしたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えたいので
- 5 病院では自分の望むように最期を迎えられないので
- 6 家族や知人が自宅で最期を迎えていたので
- 7 その他 (具体的に)

補問2 (問11で2, 3, 4をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 自宅では訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族が希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

<あなたの家族が脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問12 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

- 1 延命医療を望む → (問13へお進みください)
- 2 どちらかというとな延命医療は望まない
- 3 延命医療は望まない
- 4 わからない → (問13へお進みください)

補問1 (問12で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

補問2 (問12で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

(全員の方に)

問13 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)

1 自宅	
2 病院	→ (補問2へお進みください)
3 老人ホーム	
4 その他(具体的に)	
5 わからない(問14-1へお進みください)	

補問1 (問13で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えさせたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごさせたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えさせたいので
- 5 病院では本人の望むように最期を迎えられないので
- 6 他の家族や知人が自宅で最期を迎えていたので
- 7 その他(具体的に)

補問2 (問13で2, 3, 4をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族が大変になるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族として希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

＜生前の意思決定についてお尋ねいたします＞

(全員の方に)

問 14-1 「治る見込みがなく、死期が近いときには延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル) という考え方について、あなたはどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

<p>1 賛成する</p> <p>2 患者の意思の尊重という考え方には賛成するが、書面にまでする必要がない</p> <p>3 賛成できない</p> <p>4 その他(具体的に)</p> <p>5 わからない</p>	<p>→ (問 14-2 へお進みください)</p>
--	----------------------------

補問 1 (問 14-1 で 1 をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えになりますか。(○は1つ)

<p>1 そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである</p> <p>2 法律を制定しなくても、医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定する</p> <p>3 その他(具体的に)</p> <p>4 わからない</p>
--

補問 2 (問 14-1 で 1 をお選びの方に) 死期が近い時の治療方針についての意思について、入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホームなど)等から、書面により患者の意思を尋ねるという考え方についてどのように思いますか。

(○は1つ)

<p>1 賛成する</p> <p>2 反対である</p> <p>3 わからない</p>

補問 3 (問 14-1 で 1 をお選びの方に) 書面に残すとしたら、どの時期が良いと思いますか。

(○は1つ)

<p>1 入院(入所)する以前に書面として残したほうが良い</p> <p>2 入院(入所)時に書面として残したほうが良い</p> <p>3 入院(入所)後のある時期に書面として残したほうが良い</p> <p>4 時期は、いつでもかまわない</p> <p>5 わからない</p>
--

(全員の方に)

問 14-2 このような書面を見せれば、医師はその内容を尊重してくれると思いますか。(○は1つ)

- 1 そう思う
- 2 そうせざるを得ないと思う
- 3 そうは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他 (具体的に)
- 6 わからない

問 14-3 あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(○は1つ)

- 1 何度でも容易に書き直すことが可能なことは知っている
- 2 1度書いた書面を書き直すことは、重大な理由が必要であると思っていた
- 3 1度書いたら、書き直しは不可能であると思っていた
- 4 その他 (具体的に)

問 14-4 事前に本人の意思の確認ができなかった患者の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(書面ではなく代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

- 1 それでよいと思う
- 2 そうせざるを得ないと思う
- 3 そうは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他 (具体的に)
- 6 わからない

問 14-5 では、あなたは、自分が終末期に明確な意思表示を行うことが困難と思われる場合、事前に治療方針に関する判断をあなた以外の方に任せておくことは可能ですか。

- 1 事前に任せておくことは可能である
- 2 事前に任せておくことは不可能である
- 3 わからない
- 4 その他 (具体的に)

問14-6 あなたは、自分が終末期に明確な意思表示が示せない場合、治療方針の決定についてどのようにしてほしいですか。(〇は1つ)

- 1 配偶者など最も身近な人の意見に従ってほしい
- 2 家族や親戚など多数の意見に従ってほしい
- 3 担当する医療・ケアチームが慎重に考えて決めてほしい
- 4 わからない

<その他の質問>

問15 あなたは、自分自身の延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、ご家族で話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

- 1 十分に話し合っている
- 2 話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問16 延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間に十分な話し合いが行われていると思われますか。(〇は1つ)

- 1 十分に行われていると思う
- 2 行われているが不十分であると思う
- 3 行われているとは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他(具体的に)
- 6 わからない

問17 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。(〇は1つ)

- 1 自分の病気を治すことができるよう、可能な限りの医療を受けたい
- 2 病気を持ちながらも自分の生活を優先させることができるよう生活を支えてくれる医療を受けたい
- 3 その他(具体的に)
- 4 わからない

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについて、もう少しお伺いします。

〔性別〕

1 男性	2 女性
------	------

〔年齢〕

1 20～24歳	7 50～54歳
2 25～29歳	8 55～59歳
3 30～34歳	9 60～64歳
4 35～39歳	10 65～69歳
5 40～44歳	11 70歳以上
6 45～49歳	

〔学歴〕 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。(中退、在学中も卒業とみなします)

1 中学(小・高小含む)	3 大学(旧高・高専含む)
2 高校(旧中含む)	4 不明

〔職業〕 あなたのご職業は何ですか。

1 自営業	3 無職(学生、専業主婦を含む)
2 勤め(パート、アルバイトを含む)	

〔入院〕 あなたやご家族の方で、最近5年間に病気やけがで入院したことがある方はいらっしゃいますか。次の中からお選びください。(○は1つ)

1 自分が入院した	4 その他(具体的に)
2 家族が入院した	5 わからない
3 自分、家族ともに入院した	6 入院したものはいない

〔死別の経験〕 あなたは、最近5年間に身近な大切な人の死を経験されましたか。(○はいくつでも)

1 家族を亡くした	3 友人を亡くした
2 親戚を亡くした	4 経験をしていない

ご協力ありがとうございました。

平成 19 年度 終末期医療に関する調査

—いのちを支える医療を目指して—

(医師対象)

調査ご協力をお願い

ご多用中、突然で恐縮でございますが、現在、厚生労働省医政局では、患者の意思を尊重した望ましい終末期医療の在り方について、「終末期医療に関する調査等検討会」を開催し、有識者による検討を進めております。当検討会におきましては、一般国民及び医療従事者への「終末期医療に関する調査」を実施し、議論の参考にすることになりました。本調査は、平成 5 年及び平成 10 年、平成 15 年に続き 4 回目の調査となり、これらの調査結果はわが国の終末期医療を考える上で重要な資料として広く活用されることとなります。

本調査は、全国の病院、診療所、緩和ケア病棟、訪問看護ステーション、介護老人福祉施設を無作為に抽出させていただき、医師 3201 名、看護職員 4201 名、介護職員 2000 名を対象としております。

また、本調査の結果は、全体を数値で集計するものであり、個別の施設名や個人名が表に出ることは一切ありません。

何卒、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

【ご記入に際してのお願い】

- 1) ご本人がお答えください。
- 2) ご記入は質問の番号にそってお願いします。
- 3) 一部の方だけにお答えいただく質問もございますが、その場合は【…の方に】といった指示があります。
- 4) お答えはあてはまる番号に○印をつけてください。
- 5) 「その他」に○をつけられた場合には、() 内に具体的にご記入ください。
- 6) ご記入は鉛筆または、黒・青のペン、ボールペンでお願いします。
- 7) 記入上おわかりにならない点などがありましたら、下記の新情報センターまでお問い合わせください。

【ご返送締切日】

ご記入いただきました調査票は、3月21日(金)までに返送用封筒にてご投函くださいますようお願いいたします。

平成 20 年 3 月

調査主体 厚生労働省 医政局総務課

調査実施 社団法人 新情報センター
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6
電 話 03-3473-5231
担 当 高崎・利光

<終末期医療への関心等についてお尋ねします>

問1 「最近、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）

- 1 非常に関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 ほとんど（全く）関心がない

補問 （問1で1か2をお選びの方に）あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。（○は1つ）

- 1 よく知っている
- 2 詳しくはないが、少し知っている
- 3 あまり知らない
- 4 ほとんど（全く）知らない

（全員の方に）

問2 あなたご自身が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 知りたい
 - 2 知りたくない
 - 3 わからない
- （問3へお進みください）

補問 （問2で1をお選びの方に）この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 直接受けたい
- 2 家族に聞いてもらい、家族から話を聞く
- 3 その他（具体的に

<あなたの死が間近に迫っている場合を想定してお尋ねします>

（全員の方に）

問3 あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている（数日程度あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、心肺蘇生措置を望みますか。（○は1つ）

- 1 心肺蘇生措置を望む
- 2 どちらかという心臓蘇生措置は望まない
- 3 心肺蘇生措置は望まない
- 4 わからない

問4 あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（○は1つ）

1 延命医療を望む	→	（問5へお進みください）
2 どちらかというとな延命医療を望まない		
3 延命医療を望まない		
4 わからない	→	（問5へお進みください）

補問1 （問4で2か3をお選びの方に）この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

補問2 （問4で2か3をお選びの方に）この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法
3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
4 わからない

<あなたの家族に死期が迫っている場合を想定してお尋ねします>

（全員の方に）

問5 あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（○は1つ）

1 延命医療を望む	→	（問6へお進みください）
2 どちらかというとな延命医療を望まない	→	（補問1へお進みください）
3 延命医療を望まない	→	（補問1へお進みください）
4 わからない	→	（問6へお進みください）

補問1 (問5で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

補問2 (問5で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法
- 3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
- 4 わからない

<あなたの担当している患者に死期が迫っている場合を想定してお尋ねします>

(全員の方に)

問6 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について、まずどなたに説明をしますか。(〇は1つ)

- 1 患者本人に説明する
- 2 患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する
- 3 家族に説明する
- 4 患者本人、家族ともに説明しない
- 5 わからない

問7 あなたは病名や病気の見通しについて、患者や家族が納得のいく説明ができていると考えていますか。(〇は1つ)

- 1 できている
- 2 ある程度できている
- 3 できていない
- 4 わからない

問8 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するにあたり、まずどなたの意見を聞かれますか。(○は1つ)

- 1 患者本人の意見を聞く
- 2 患者本人の状況を見て誰にするかを判断する
- 3 家族の意見を聞く
- 4 患者本人、家族ともに意見を聞かない
- 5 わからない

問9 あなたが担当している患者が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 延命医療であっても続けるべきである (問10-1へお進みください)
- 2 どちらかというとな延命医療は中止したほうがよい (補問1へお進みください)
- 3 延命医療は中止するべきである (補問1へお進みください)
- 4 わからない (問10-1へお進みください)

補問1 (問9で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止
- 4 わからない

補問2 (問9で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法 → (問10-1へお進みください)
- 2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法 → (問10-1へお進みください)
- 3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法 → (補問3へお進みください)
- 4 わからない → (問10-1へお進みください)

補問3 (補問2で3をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要となるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。
(○はいくつでも)

- 1 医学的にみて患者が不治の病に冒され、しかもその死が目前に迫っていること
- 2 患者の痛みが甚だしく、誰もがこれを見るに忍びないほどであること
- 3 患者の痛みからの解放を目的とした治療が十分なされていること
- 4 患者本人の強い要請があること
- 5 方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること
- 6 医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること
- 7 医師の手によることを原則とし、これができない場合は世間が納得できるだけの特別な事情があること
- 8 方法が常識的にも妥当なものとして認め得るものであること
- 9 その他 (具体的に)
- 10 わからない

(全員の方に)

問10-1 あなたが担当している患者が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定) 場合、療養生活はどこを薦めますか。(○は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の) 医療機関に入院を薦める
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟) に入院を薦める
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院を薦める
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院を薦める
- 5 自宅で最期まで療養を薦める
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど) で積極的な治療を薦める
- 7 老人ホームに入所を薦める
- 8 その他 (具体的に)
- 9 わからない

問10-2 自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 実現可能である → (問11-1へお進みください)
- 2 実現困難である → (補問へお進みください)
- 3 わからない → (問11-1へお進みください)

補問 (問10-2で2をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がいない
- 2 訪問看護体制が整っていない
- 3 訪問介護体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護してくれる家族がいない
- 6 介護してくれる家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他 (具体的に)

(全員の方に)

問11-1 あなたは世界保健機関 (WHO) が作成した「WHO方式癌疼痛治療法」をご存じですか。(〇は1つ)

- 1 あることを知っている
- 2 内容をある程度知っている
- 3 内容をよく知っている
- 4 知らない

問11-2 あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 説明できる
- 2 多少は説明できる
- 3 説明できない
- 4 その他 (具体的に)
- 5 わからない

<あなたが遷延性意識障害になった場合を想定してお尋ねします>

問 12 あなたご自身が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。
(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは、

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

1 延命医療を望む	→ (問 13 へお進みください)
2 どちらかというとな延命医療は望まない	
3 延命医療は望まない	
4 わからない	→ (問 13 へお進みください)

補問 1 (問 12 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問 2 (問 12 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

<あなたの家族が遷延性意識障害になった場合を想定してお尋ねします>

(全員の方に)

問 13 では、あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとしします。

1	延命医療を望む	—————→	(問 14 へお進みください)
2	どちらかというとな延命医療は望まない		
3	延命医療は望まない		
4	わからない	—————→	(問 14 へお進みください)

補問 1 (問 13 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2	生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3	わからない

補問 2 (問 13 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2	胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3	点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4	わからない

<あなたが担当している患者が遷延性意識障害になった場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問 14 では、あなたの担当している患者が遷延性意識障害で治る見込みがない場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは、

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとしします。

1	延命医療であっても続けるべきである	—————→	(問 15 へお進みください)
2	どちらかというとな延命医療は中止するべきである		
3	延命医療は中止するべきである		
4	わからない	—————→	(問 15 へお進みください)

補問 1 (問 14 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2	生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3	わからない

補問 2 (問 14 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2	胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3	点滴等の水分補給など、一切の治療を中止
4	わからない

<あなたが脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問 15 あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

1	延命医療を望む	→	(問 16 へお進みください)
2	どちらかという延命医療を望まない		
3	延命医療を望まない		
4	わからない	→	(問 16 へお進みください)

補問 1 (問 15 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないのは、具体的にはどのような場合ですか。(○は1つ)

1	意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
2	生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3	わからない

補問 2 (問 15 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2	胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3	点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4	わからない

(全員の方に)

問 16 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合、どこで最期まで療養したいですか。

1	自宅	→	(補問 1 へお進みください)
2	一般の急性期病院		
3	介護療養型医療施設、又は長期療養を目的とした病院		
4	介護老人保健施設	→	(補問 2 へお進みください)
5	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		
6	その他 (具体的に)		
7	わからない	→	(問 17 へお進みください)

補問1 (問16で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごしたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えたいので
- 5 病院では自分の望むような状態で死ねないので
- 6 家族や知人が自宅で最期を迎えたので
- 7 その他 (具体的に)

補問2 (問16で2~6をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいため
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 自宅では訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいため
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族が希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

<あなたの家族が脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問17 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

- 1 延命医療を望む → (問18へお進みください)
- 2 どちらかという延命医療を望まない → (補問1へお進みください)
- 3 延命医療を望まない → (補問1へお進みください)
- 4 わからない → (問18へお進みください)

補問1 (問17で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないのは、具体的にはどのような場合ですか。(○は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

補問2 (問17で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

<あなたが担当する患者が脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問18 あなたの担当する患者が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 延命医療であっても続けるべきである → (問19へお進みください)
- 2 どちらかというとな延命医療は中止するべきである
- 3 延命医療を中止するべきである
- 4 わからない → (問19へお進みください)

補問1 (問18で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

補問2 (問18で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

(全員の方に)

問19 あなたの担当する患者が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)

1 自宅	
2 一般病院	
3 介護療養型医療施設、又は長期療養を目的とした病院	→ (補問2へお進みください)
4 介護老人保健施設	
5 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	
6 その他 (具体的に)	
7 わからない	→ (問20-1へお進みください)

補問1 (問19で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えさせたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごさせたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えさせたいので
- 5 病院では本人の望むように最期を迎えられないので
- 6 他の家族や知人が自宅で最期を迎えていたので
- 7 その他 (具体的に)

補問2 (問 19 で2～6をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族が大変になるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族として希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとの最期までみてほしいから
- 10 わからない

<生前の意思決定についてお尋ねします>

(全員の方に)

問 20-1 「治る見込みがなく、死期が近いときには、延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル)という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1 賛成する	
2 患者の意思の尊重という考え方には賛成するが、書面にまでする必要がない	→ (問 20-2 へお進みください)
3 賛成できない	
4 その他(具体的に)	
5 わからない	

補問 1 (問 20-1 で1をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えですか。(〇は1つ)

- 1 そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである
- 2 法律を制定しなくても、医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定する
- 3 その他(具体的に)
- 4 わからない

補問2 (問20-1で1をお選びの方に) 死期が近い時の治療方針についての意思について入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホーム)から、書面により患者の意思を尋ねるという考え方についてどのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 賛成する
- 2 反対である
- 3 わからない

補問3 (問20-1で1をお選びの方に) 書面に残すとしたらいつの時期が良いと思いますか。(〇は1つ)

- 1 入院(入所)する以前に書類として残した方が良い
- 2 入院(入所)時に書面として残したほうが良い
- 3 入院(入所)後、ある時期に書面として残した方が良い
- 4 時期は、いつでもかまわない
- 5 わからない

(全員の方に)

問20-2 このような書面について、あなた自身はその内容を尊重しますか。(〇は1つ)

- 1 尊重する
- 2 尊重せざるを得ない
- 3 尊重しない
- 4 その時の状況による
- 5 その他(具体的に)
- 6 わからない

問20-3 あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 何度でも容易に書き直すことが可能なことは知っている
- 2 1度書いた書面を書き直すことは、重大な理由が必要であると思っていた
- 3 1度書いたら、書き直しは不可能であると思っていた
- 4 その他(具体的に)

問 20-4 事前に本人の意思の確認ができなかった患者の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(書面ではなく代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

- 1 それでよいと思う
- 2 そうせざるを得ないと思う
- 3 そうは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他(具体的に)
- 6 わからない

問 20-5 本人の明確な意思表示が全くわからない場合の終末期における治療方針の決定についてどう思いますか。(○は1つ)

- 1 配偶者など最も身近な人の意見に従うべき
- 2 家族や親戚など多数の意見に従うべき
- 3 担当する医療・ケアチームが慎重に考えて決めるべき
- 4 わからない

<終末期医療に関する全般的な質問>

問 21 あなたは、自分自身の延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、ご家族で話し合ったことがありますか。(○は1つ)

- 1 十分に話し合っている
- 2 話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問 22 延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。(○は1つ)

- 1 行われていると思う
- 2 不十分と思う
- 3 行われているとは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他(具体的に)
- 6 わからない

問 23 あなたの施設では、終末期医療における治療方針について、医師や看護・介護職員等の職員間で十分な話し合いが行われていると思いますか。

- 1 行われていると思う
- 2 不十分と思う
- 3 行われているとは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他（具体的に)
- 6 わからない

問 24 終末期医療において、治療方針について医師や看護・介護職員等の間に意見の相違がおこったことがありますか。（○は1つ）

- 1 ある（補問へお進みください）
- 2 ない →（問 25 へお進みください）

補問（問 24 で 1 をお選びの方に）その場合、意見の調整を多くの場合どのように図ってきましたか。（○はいくつでも）

- 1 主治医の意見にもとづく
- 2 患者を担当している看護・介護職員の意見にもとづく
- 3 主治医と患者を担当している看護・介護職員の意見にもとづく
- 4 患者本人または家族の意見にもとづく
- 5 専門家からなる委員会の意見を参考にする
- 6 その他（具体的に)
- 7 わからない

（全員の方に）

問 25 あなたは終末期状態の定義や延命治療の不開始、中止等に関する一律な判断基準についてどう考えますか。

- 1 詳細な基準を作るべきである →（補問へお進みください）
- 2 一律な基準を作らなくても医療・ケアチームが十分に検討して方針を決定すればよい
- 3 わからない →（問 26 へお進みください）
- 4 その他（具体的に)

補問 (問 25 で 1 をお選びの方に) 現時点で、そのような基準は作成可能だと思いますか。

- 1 患者、医療従事者の両者が納得できる基準は作成可能である
- 2 現時点では難しいが、検討を進めていくべきである
- 3 可能とは思わない
- 4 わからない

(全員の方に)

問 26 あなたは、終末期医療において、どのようなことを今後重点的に行うべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 痛みなどの症状の緩和方法の徹底と普及
- 2 患者や家族に関する専門的な精神科医やカウンセラーの関与
- 3 治療、ケアの方針に関する、医師と患者・家族との十分な話し合い
- 4 患者の死後、残された遺族に対する援助サービス
- 5 患者や家族の看護に関して専門的な知識・技術をもった看護師の関与
- 6 終末期医療におけるチーム医療の充実
- 7 その他 (具体的に)
- 8 特になし

問 27 あなたは、終末期医療の普及に関し、どのようなことを充実していくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 終末期医療に従事する医療従事者数の確保
- 2 医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や生涯研修の充実
- 3 研究活動の推進
- 4 患者、家族への相談体制の充実
- 5 在宅医療で十分な終末期医療が行えるような体制づくり
- 6 緩和ケア病棟の設置と拡充
- 7 一般病棟において十分な終末期医療が行えるような体制づくり
- 8 一般市民に対する教育活動
- 9 意思表示の事前文書などの法的整備
- 10 終末期医療への経済的評価
- 11 その他 (具体的に)
- 12 特になし

問 28 あなたは、終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	頻繁に感じる	
2	たまに感じる	
3	感じたことはない	→ (フェースシートへお進みください)

補問 (問 28 で 1 か 2 をお選びの方へ) 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定) 患者の診療にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

1	患者へ病名、病状の説明をすること	
2	痛みをはじめとした症状を緩和すること	
3	患者や家族と話し合う時間を持つこと	
4	患者や家族のための病院内の設備や終末期医療の施設が乏しいこと	
5	在宅医療を実施したくても、体制が十分でないこと	
6	延命のための医療を中止すること	
7	医療・ケアチームで意見がわかること	
8	その他(具体的に)
9	特になし	

(全員の方に)

問 29 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。(○は1つ)

1	自分の病気を治すことができるよう、可能な限りの医療を受けたい	
2	病気をもちながらも自分の生活を優先させることができるよう生活を支えてくれる医療を受けたい	
3	その他(具体的に)
4	わからない	

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについて、もう少しお伺いします。

〔性別〕

1 男性	2 女性
------	------

〔年齢〕

1 20～24歳	7 50～54歳
2 25～29歳	8 55～59歳
3 30～34歳	9 60～64歳
4 35～39歳	10 65～69歳
5 40～44歳	11 70歳以上
6 45～49歳	

〔診療されている場〕 あなたの職場はどこですか。(○は1つ)

1 診療所	4 療養病床 (介護療養型医療施設を含む)
2 緩和ケア病棟	5 その他 (具体的に)
3 一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	

〔主たる診療科〕 あなたが所属する診療科をお選びください。

1 内科	18 小児外科
2 診療内科	19 皮膚科
3 精神科	20 泌尿器科
4 神経科 (神経内科)	21 性病科
5 呼吸器科	22 こう門科
6 消化器科 (胃腸科)	23 産婦人科
7 循環器科	24 眼科
8 アレルギー科	25 耳鼻咽喉科
9 リウマチ科	26 気管食道科
10 小児科	27 リハビリテーション科
11 外科	28 放射線科
12 整形外科	29 麻酔科
13 形成外科	30 ホスピス科
14 美容外科	31 緩和ケア科
15 脳神経外科	32 老人科
16 呼吸器外科	33 総合 (診療) 内科
17 心臓血管外科	34 その他 ()

〔病床数〕 あなたがご所属の医療機関・施設の病床数をお答えください。

病床数 ()

〔質問に答えることになった理由〕 あなたがご所属の医療機関・施設内で、この調査を担当した理由は次のうちどれですか。(○はひとつ)

- 1 高齢者の医療・介護担当
- 2 緩和ケアに所属
- 3 患者の看取りが多い部署に所属
- 4 役職者(院長、施設長、診療部長など)
- 5 その他(具体的に)

〔入院〕 あなたやご家族の方で、最近5年間に病気やけがで入院したことがある方はいらっしゃいますか。次の中からお選びください。(○は1つ)

- 1 自分が入院した
- 2 家族が入院した
- 3 自分、家族ともに入院した
- 4 その他(具体的に)
- 5 わからない
- 6 入院したものはいない

〔死別の経験〕 あなたは、最近5年間に身近な大切な人の死を経験されましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 家族を亡くした | 3 友人を亡くした |
| 2 親戚を亡くした | 4 経験をしていない |

〔経験1〕 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者の診療に当たったことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない
- 3 その他(具体的に)

〔経験2〕 遷延性意識障害で、治る見込みがない患者の診療に当たったことがありますか。

(○は1つ)

※ 「遷延性意識障害」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

- | |
|---------------|
| 1 ある |
| 2 ない |
| 3 その他 (具体的に) |

〔経験3〕 脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難であり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された患者の診療に当たったことがありますか。(○は1つ)

- | |
|---------------|
| 1 ある |
| 2 ない |
| 3 その他 (具体的に) |

ご協力ありがとうございました。

平成 19 年度 終末期医療に関する調査

—いのちを支える医療を目指して—

(看護師対象)

調査ご協力をお願い

ご多用中、突然で恐縮でございますが、現在、厚生労働省医政局では、患者の意思を尊重した望ましい終末期医療の在り方について、「終末期医療に関する調査等検討会」を開催し、有識者による検討を進めております。当検討会におきましては、一般国民及び医療従事者への「終末期医療に関する調査」を実施し、議論の参考にすることになりました。本調査は、平成 5 年及び平成 10 年、平成 15 年に続き 4 回目の調査となり、これらの調査結果はわが国の終末期医療を考える上で重要な資料として広く活用されることとなります。

本調査は、全国の病院、診療所、緩和ケア病棟、訪問看護ステーション、介護老人福祉施設を無作為に抽出させていただき、医師 3201 名、看護職員 4201 名、介護職員 2000 名を対象としております。

また、本調査の結果は、全体を数値で集計するものであり、個別の施設名や個人名が表に出ることは一切ありません。

何卒、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

【ご記入に際してのお願い】

- 1) ご本人がお答えください。
- 2) ご記入は質問の番号にそってお願いします。
- 3) 一部の方だけにお答えいただく質問もございますが、その場合は【…の方に】といった指示があります。
- 4) お答えはあてはまる番号に○印をつけてください。
- 5) 「その他」に○をつけられた場合には、() 内に具体的にご記入ください。
- 6) ご記入は鉛筆または、黒・青のペン、ボールペンでお願いします。
- 7) 記入上おわかりにならない点などがありましたら、下記の新情報センターまでお問い合わせください。

【ご返送締切日】

ご記入いただきました調査票は、3月21日(金)までに返送用封筒にてご投函くださいますようお願いいたします。

平成 20 年 3 月

調査主体 厚生労働省 医政局総務課

調査実施 社団法人 新情報センター

東京都渋谷区恵比寿 1-13-6

電 話 03-3473-5231

担 当 高崎・利光

<終末期医療への関心等についてお尋ねします>

問1 最近、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）

- 1 非常に関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 ほとんど（全く）関心がない

補問（問1で1か2をお選びの方に）あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。（○は1つ）

- 1 よく知っている
- 2 詳しくはないが、少し知っている
- 3 あまり知らない
- 4 ほとんど（全く）知らない

（全員の方に）

問2 あなたご自身が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 知りたい
 - 2 知りたくない
 - 3 わからない
- （問3へお進みください）

補問（問2で1をお選びの方に）この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 直接受けたい
- 2 家族に聞いてもらい、家族から話を聞く
- 3 その他（具体的に）

<あなたの死が間近に迫っている場合を想定してお尋ねします>

（全員の方に）

問3 あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている（数日程度あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、心肺蘇生措置を望みますか。（○は1つ）

- 1 心肺蘇生措置を望む
- 2 どちらかというと心肺蘇生措置は望まない
- 3 心肺蘇生措置は望まない
- 4 わからない

問4 あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（○は1つ）

1 延命医療を望む	→	(問5へお進みください)
2 どちらかという延命医療を望まない		
3 延命医療を望まない		
4 わからない	→	(問5へお進みください)

補問1 (問4で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

補問2 (問4で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法
3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
4 わからない

<あなたの家族に死期が迫っている場合を想定してお尋ねします>

(全員の方に)

問5 あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（○は1つ）

1 延命医療を望む	→	(問6へお進みください)
2 どちらかという延命医療を望まない	→	(補問1へお進みください)
3 延命医療を望まない		
4 わからない	→	(問6へお進みください)

補問1 (問5で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

補問2 (問5で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法
- 3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
- 4 わからない

<あなたの担当している患者に死期が迫っている場合を想定してお尋ねします>

(全員の方に)

問6 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について、まずどなたに説明をしますか。(〇は1つ)

- 1 患者本人に説明する
- 2 患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する
- 3 家族に説明する
- 4 患者本人、家族ともに説明しない
- 5 わからない

問7 あなたは病名や病気の見通しについて、患者や家族が納得のいく説明ができていると考えていますか。(〇は1つ)

- 1 できている
- 2 ある程度できている
- 3 できていない
- 4 わからない

問8 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するにあたり、まずどなたの意見を聞かれますか。(〇は1つ)

- 1 患者本人の意見を聞く
- 2 患者本人の状況を見て誰にするかを判断する
- 3 家族の意見を聞く
- 4 患者本人、家族ともに意見を聞かない
- 5 わからない

問9 あなたが担当している患者が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 延命医療であっても続けるべきである (問10-1へお進みください)
- 2 どちらかという延命医療は中止したほうがよい(補問1へお進みください)
- 3 延命医療は中止するべきである(補問1へお進みください)
- 4 わからない(問10-1へお進みください)

補問1 (問9で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止
- 4 わからない

補問2 (問9で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法 → (問10-1へお進みください)
- 2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法 → (問10-1へお進みください)
- 3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法 → (補問3へお進みください)
- 4 わからない → (問10-1へお進みください)

補問3 (補問2で3をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要となるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。
(○はいくつでも)

- 1 医学的にみて患者が不治の病に冒され、しかもその死が目前に迫っていること
- 2 患者の痛みが甚だしく、誰もがこれを見るに忍びないほどであること
- 3 患者の痛みからの解放を目的とした治療が十分なされていること
- 4 患者本人の強い要請があること
- 5 方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること
- 6 医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること
- 7 医師の手によることを原則とし、これができない場合は世間が納得できるだけの特別な事情があること
- 8 方法が常識的にも妥当なものとして認め得るものであること
- 9 その他(具体的に)
- 10 わからない

(全員の方に)

問10-1 あなたが担当している患者が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定) 場合、療養生活はどこを薦めますか。(○は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の) 医療機関に入院を薦める
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟) に入院を薦める
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院を薦める
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院を薦める
- 5 自宅で最期まで療養を薦める
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的な治療を薦める
- 7 老人ホームに入所を薦める
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問10-2 自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 実現可能である → (問11-1へお進みください)
- 2 実現困難である → (補問へお進みください)
- 3 わからない → (問11-1へお進みください)

補問 (問10-2で2をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1 往診してくれるかかりつけの医師がない |
| 2 訪問看護体制が整っていない |
| 3 訪問介護体制が整っていない |
| 4 24時間相談にのってくれるところがない |
| 5 介護してくれる家族がない |
| 6 介護してくれる家族に負担がかかる |
| 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である |
| 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である |
| 9 居住環境が整っていない |
| 10 経済的に負担が大きい |
| 11 その他(具体的に) |

(全員の方に)

問11-1 あなたは世界保健機関(WHO)が作成した「WHO方式癌疼痛治療法」をご存じですか。(〇は1つ)

- | |
|----------------|
| 1 あることを知っている |
| 2 内容をある程度知っている |
| 3 内容をよく知っている |
| 4 知らない |

問11-2 あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- | |
|--------------|
| 1 説明できる |
| 2 多少は説明できる |
| 3 説明できない |
| 4 その他(具体的に) |
| 5 わからない |

<あなたが遷延性意識障害になった場合を想定してお尋ねします>

問 12 あなたご自身が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。
(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは、

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

1 延命医療を望む	→ (問 13 へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない	
3 延命医療は望まない	
4 わからない	→ (問 13 へお進みください)

補問 1 (問 12 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問 2 (問 12 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

<あなたの家族が遷延性意識障害になった場合を想定してお尋ねします>

(全員の方に)

問 13 では、あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとしします。

1 延命医療を望む	—————▶	(問 14 へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない		
3 延命医療は望まない		
4 わからない	—————▶	(問 14 へお進みください)

補問 1 (問 13 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問 2 (問 13 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

<あなたが担当している患者が遷延性意識障害になった場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問 14 では、あなたの担当している患者が遷延性意識障害で治る見込みがない場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

1	延命医療であっても続けるべきである	—————→	(問 15 へお進みください)
2	どちらかというとな延命医療は中止するべきである		
3	延命医療は中止するべきである		
4	わからない	—————→	(問 15 へお進みください)

補問 1 (問 14 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2	生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3	わからない

補問 2 (問 14 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1	人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2	胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3	点滴等の水分補給など、一切の治療を中止
4	わからない

＜あなたが脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします＞

(全員の方に)

問 15 あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

1 延命医療を望む	→	(問 16 へお進みください)
2 どちらかという延命医療を望まない		
3 延命医療を望まない		
4 わからない	→	(問 16 へお進みください)

補問 1 (問 15 で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないのは、具体的にはどのような場合ですか。(○は1つ)

1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問 2 (問 15 で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

(全員の方に)

問 16 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合、どこで最期まで療養したいですか。

1 自宅	→	(補問 1 へお進みください)
2 一般の急性期病院		
3 介護療養型医療施設、又は長期療養を目的とした病院		
4 介護老人保健施設	→	(補問 2 へお進みください)
5 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		
6 その他 (具体的に)		
7 わからない	→	(問 17 へお進みください)

補問1 (問16で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いませんか。

(○はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごしたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えたいので
- 5 病院では自分の望むような状態で死ねないので
- 6 家族や知人が自宅で最期を迎えたので
- 7 その他(具体的に)

補問2 (問16で2~6をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(○はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいため
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 自宅では訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいため
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族が希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

<あなたの家族が脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問17 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

- 1 延命医療を望む → (問18へお進みください)
- 2 どちらかという延命医療を望まない → (補問1へお進みください)
- 3 延命医療を望まない → (補問1へお進みください)
- 4 わからない → (問18へお進みください)

補問1 (問17で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないのは、具体的にはどのような場合ですか。(○は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

補問2 (問17で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

<あなたが担当する患者が脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問18 あなたの担当する患者が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 延命医療であっても続けるべきである → (問19へお進みください)
- 2 どちらかという延命医療は中止するべきである
- 3 延命医療を中止するべきである
- 4 わからない → (問19へお進みください)

補問1 (問18で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

補問2 (問18で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろうや中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

(全員の方に)

問19 あなたの担当する患者が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)

1 自宅	
2 一般病院	
3 介護療養型医療施設、又は長期療養を目的とした病院	→ (補問2へお進みください)
4 介護老人保健施設	
5 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
6 その他(具体的に)	
7 わからない	→ (問20-1へお進みください)

補問1 (問19で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えさせたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごさせたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えさせたいので
- 5 病院では本人の望むように最期を迎えられないので
- 6 他の家族や知人が自宅で最期を迎えていたので
- 7 その他(具体的に)

補問2 (問19で2～6をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族が大変になるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族として希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

<生前の意思決定についてお尋ねします>

(全員の方に)

問20-1 「治る見込みがなく、死期が近いときには、延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル)という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

- 1 賛成する
 - 2 患者の意思の尊重という考え方には賛成するが、書面にまでする必要がない
 - 3 賛成できない
 - 4 その他(具体的に)
 - 5 わからない
- (問20-2へお進みください)

補問1 (問20-1で1をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えですか。(〇は1つ)

- 1 そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである
- 2 法律を制定しなくても、医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定する
- 3 その他(具体的に)
- 4 わからない

補問2 (問20-1で1をお選びの方に) 死期が近い時の治療方針についての意思について入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホーム)から、書面により患者の意思を尋ねるという考え方についてどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 賛成する
- 2 反対である
- 3 わからない

補問3 (問20-1で1をお選びの方に) 書面に残すとしたらいつの時期が良いと思いますか。(○は1つ)

- 1 入院(入所)する以前に書類として残した方が良い
- 2 入院(入所)時に書面として残したほうが良い
- 3 入院(入所)後、ある時期に書面として残した方が良い
- 4 時期は、いつでもかまわない
- 5 わからない

(全員の方に)

問20-2 このような書面について、あなた自身はその内容を尊重しますか。(○は1つ)

- 1 尊重する
- 2 尊重せざるを得ない
- 3 尊重しない
- 4 その時の状況による
- 5 その他(具体的に)
- 6 わからない

問20-3 あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(○は1つ)

- 1 何度でも容易に書き直すことが可能なことは知っている
- 2 1度書いた書面を書き直すことは、重大な理由が必要であると思っていた
- 3 1度書いたら、書き直しは不可能であると思っていた
- 4 その他(具体的に)

問 20-4 事前に本人の意思の確認ができなかった患者の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」（書面ではなく代理人による意思表示）という考え方についてどう思いますか。（○は1つ）

- 1 それでよいと思う
- 2 そうせざるを得ないと思う
- 3 そうは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他（具体的に _____）
- 6 わからない

問 20-5 本人の明確な意思表示が全くわからない場合の終末期における治療方針の決定についてどう思いますか。（○は1つ）

- 1 配偶者など最も身近な人の意見に従うべき
- 2 家族や親戚など多数の意見に従うべき
- 3 担当する医療・ケアチームが慎重に考えて決めるべき
- 4 わからない

<終末期医療に関する全般的な質問>

問 21 あなたは、自分自身の延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、ご家族で話し合ったことがありますか。（○は1つ）

- 1 十分に話し合っている
- 2 話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問 22 延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。（○は1つ）

- 1 行われていると思う
- 2 不十分と思う
- 3 行われているとは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他（具体的に _____）
- 6 わからない

問 23 あなたの施設では、終末期医療における治療方針について、医師や看護・介護職員等の職員間で十分な話し合いが行われていると思いますか。

- 1 行われていると思う
- 2 不十分と思う
- 3 行われているとは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他（具体的に _____）
- 6 わからない

問 24 終末期医療において、治療方針について医師や看護・介護職員等の間に意見の相違がおこったことがありますか。（○は1つ）

- 1 ある（補問へお進みください）
- 2 ない → （問 25 へお進みください）

補問 （問 24 で 1 をお選びの方に）その場合、意見の調整を多くの場合どのように図ってきましたか。（○はいくつでも）

- 1 主治医の意見にもとづく
- 2 患者を担当している看護・介護職員の意見にもとづく
- 3 主治医と患者を担当している看護・介護職員の意見にもとづく
- 4 患者本人または家族の意見にもとづく
- 5 専門家からなる委員会の意見を参考にする
- 6 その他（具体的に _____）
- 7 わからない

（全員の方に）

問 25 あなたは終末期状態の定義や延命治療の不開始、中止等に関する一律な判断基準についてどう考えますか。

- 1 詳細な基準を作るべきである → （補問へお進みください）
- 2 一律な基準を作らなくても医療・ケアチームが十分に検討して方針を決定すればよい
- 3 わからない → （問 26 へお進みください）
- 4 その他（具体的に _____）

補問 (問 25 で 1 をお選びの方に) 現時点で、そのような基準は作成可能だと思いますか。

- 1 患者、医療従事者の両者が納得できる基準は作成可能である
- 2 現時点では難しいが、検討を進めていくべきである
- 3 可能とは思わない
- 4 わからない

(全員の方に)

問 26 あなたは、終末期医療において、どのようなことを今後重点的に行うべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 痛みなどの症状の緩和方法の徹底と普及
- 2 患者や家族に関する専門的な精神科医やカウンセラーの関与
- 3 治療、ケアの方針に関する、医師と患者・家族との十分な話し合い
- 4 患者の死後、残された遺族に対する援助サービス
- 5 患者や家族の看護に関して専門的な知識・技術をもった看護師の関与
- 6 終末期医療におけるチーム医療の充実
- 7 その他 (具体的に)
- 8 特になし

問 27 あなたは、終末期医療の普及に関し、どのようなことを充実していくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 終末期医療に従事する医療従事者数の確保
- 2 医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や生涯研修の充実
- 3 研究活動の推進
- 4 患者、家族への相談体制の充実
- 5 在宅医療で十分な終末期医療が行えるような体制づくり
- 6 緩和ケア病棟の設置と拡充
- 7 一般病棟において十分な終末期医療が行えるような体制づくり
- 8 一般市民に対する教育活動
- 9 意思表示の事前文書などの法的整備
- 10 終末期医療への経済的評価
- 11 その他 (具体的に)
- 12 特になし

問 28 あなたは、終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

1 頻繁に感じる	
2 たまに感じる	
3 感じたことはない	→ (フェースシートへお進みください)

補問 (問 28 で 1 か 2 をお選びの方へ) 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者の診療にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

1 患者へ病名、病状の説明をすること	
2 痛みをはじめとした症状を緩和すること	
3 患者や家族と話し合う時間を持つこと	
4 患者や家族のための病院内の設備や終末期医療の施設が乏しいこと	
5 在宅医療を実施したくても、体制が十分でないこと	
6 延命のための医療を中止すること	
7 医療・ケアチームで意見がわかること	
8 その他(具体的に)
9 特になし	

(全員の方に)

問 29 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。(〇は1つ)

1 自分の病気を治すことができるよう、可能な限りの医療を受けたい	
2 病気を持ちながらも自分の生活を優先させることができるよう生活を支えてくれる医療を受けたい	
3 その他(具体的に)
4 わからない	

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについて、もう少しお伺いします。

〔性別〕

1 男性	2 女性
------	------

〔年齢〕

1 20～24歳	7 50～54歳
2 25～29歳	8 55～59歳
3 30～34歳	9 60～64歳
4 35～39歳	10 65～69歳
5 40～44歳	11 70歳以上
6 45～49歳	

〔診療されている場〕 あなたの職場はどこですか。(○は1つ)

1 診療所	4 療養病床 (介護療養型医療施設を含む)
2 緩和ケア病棟	5 その他 (具体的に)
3 一般病床 (緩和ケア病棟を除く)	

〔主たる診療科〕 あなたが所属する診療科をお選びください。

1 内科	18 小児外科
2 診療内科	19 皮膚科
3 精神科	20 泌尿器科
4 神経科 (神経内科)	21 性病科
5 呼吸器科	22 こう門科
6 消化器科 (胃腸科)	23 産婦人科
7 循環器科	24 眼科
8 アレルギー科	25 耳鼻咽喉科
9 リウマチ科	26 気管食道科
10 小児科	27 リハビリテーション科
11 外科	28 放射線科
12 整形外科	29 麻酔科
13 形成外科	30 ホスピス科
14 美容外科	31 緩和ケア科
15 脳神経外科	32 老人科
16 呼吸器外科	33 総合 (診療) 内科
17 心臓血管外科	34 その他 (.)

〔病床数〕 あなたがご所属の医療機関・施設の病床数をお答えください。

病床数 ()

〔質問に答えることになった理由〕 あなたがご所属の医療機関・施設内で、この調査を担当した理由は次のうちどれですか。(〇はひとつ)

- 1 高齢者の医療・介護担当
- 2 緩和ケアに所属
- 3 患者の看取りが多い部署に所属
- 4 役職者(院長、施設長、診療部長など)
- 5 その他(具体的に)

〔入院〕 あなたやご家族の方で、最近5年間に病気やけがで入院したことがある方はいらっしゃいますか。次の中から選びください。(〇は1つ)

- 1 自分が入院した
- 2 家族が入院した
- 3 自分、家族ともに入院した
- 4 その他(具体的に)
- 5 わからない
- 6 入院したものはいない

〔死別の経験〕 あなたは、最近5年間に身近な大切な人の死を経験されましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 家族を亡くした | 3 友人を亡くした |
| 2 親戚を亡くした | 4 経験をしていない |

〔経験1〕 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者の診療に当たったことがありますか。(〇は1つ)

- 1 ある
- 2 ない
- 3 その他(具体的に)

〔経験2〕 遷延性意識障害で、治る見込みがない患者の診療に当たったことがありますか。

(○は1つ)

※ 「遷延性意識障害」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

- | |
|---------------|
| 1 ある |
| 2 ない |
| 3 その他 (具体的に) |

〔経験3〕 脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難であり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された患者の診療に当たったことがありますか。(○は1つ)

- | |
|---------------|
| 1 ある |
| 2 ない |
| 3 その他 (具体的に) |

ご協力ありがとうございました。